



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月10日

上場会社名 株式会社やまや 上場取引所 東
コード番号 9994 URL <https://www.yamaya.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 山内 英靖
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 田原口 裕基 TEL 022-742-3114
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 2023年11月28日
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	80,149	5.8	2,570	380.6	2,613	322.2	1,488	163.4
2023年3月期第2四半期	75,769	7.9	534	387.5	619	△89.9	564	△79.8

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 1,680百万円(－%) 2023年3月期第2四半期 △114百万円(－%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	137.25	—
2023年3月期第2四半期	52.11	—

(参考) EBITDA 2024年3月期第2四半期 3,266百万円(149.8%) 2023年3月期第2四半期 1,307百万円(△80.8%)

*EBITDA=経常利益+支払利息+減価償却費+のれん償却額

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	61,245	30,991	49.2
2023年3月期	59,275	29,592	48.7

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 30,112百万円 2023年3月期 28,849百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	26.00	—	26.00	52.00
2024年3月期	—	26.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	26.00	52.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	156,800	2.6	3,860	36.0	3,900	32.0	2,250	16.6	207.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	10,847,870株	2023年3月期	10,847,870株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	6,322株	2023年3月期	6,242株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	10,841,551株	2023年3月期2Q	10,841,634株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後の様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(追加情報)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

[事業全般の概況]

当第2四半期連結累計期間(2023年4月1日～2023年9月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5類に変更され、経済活動の正常化が進み、緩やかな回復傾向となったものの、緊迫した海外情勢並びに為替の影響等によるエネルギー資源をはじめとした物価上昇により、消費者動向など先行き不透明な状況が続いております。

このような環境の中、当社グループは、刻々と変化する社会環境と多様化するお客様ニーズへ対応し、豊かな生活をお客様にお届けすることを基本姿勢として、さまざまなライフスタイルに対応できる商品・サービスの提供に取り組んでまいりました。

当第2四半期連結累計期間(2023年4月1日から2023年9月30日まで)における当社グループ連結業績は、売上高は801億49百万円(前年同期比5.8%増)、営業利益は25億70百万円(同380.6%増)となりました。経常利益は26億13百万円(同322.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は14億88百万円(同163.4%増)となりました。

経済活動の正常化に伴い、外食事業の業績が順調に回復基調となり、酒販事業、外食事業ともにインバウンド需要を積極的に取り込んだことや、商品調達コストの上昇に伴う価格改定が奏功し、売上高、営業利益及び経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益において連結業績予想を上回る結果となりました。

当第2四半期連結会計期間末において、酒販事業353店(前年同期比4店増)、外食事業649店(同48店減)、グループ合計店舗数1,002店(同44店減)を運営しています。

セグメント別の業績は、次の通りであります。

[酒販事業]

酒販事業における売上高は664億84百万円(前年同期比0.9%増)、営業利益は18億64百万円(同0.6%増)となりました。

当第2四半期連結累計期間は、行動制限の緩和により各地でイベントやお祭りが再開されるなど、人流の回復が進んだことにより、料飲店様の需要や祭り需要が回復しました。また、インバウンド需要においては東京や大阪など都心部に加え、地方で需要が出てまいりました。9月には10月1日の酒税法改正前にビール類新ジャンル等の仮需がありました。以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同等の水準で推移しました。

新規出店として、三沢松園店(青森県)、馬見ヶ崎店(山形県)、小山城南店(栃木県)の3店を開店しました。また、門戸厄神店(兵庫県)を閉店しました。

2023年9月末における酒販事業の店舗数は、353店舗(前年同期比4店増)となりました。

[外食事業]

外食事業における売上高は138億15百万円(前年同期比37.9%増)、営業利益は7億円(前年同期は営業損失13億23百万円)となりました。

外食業界におきましては、ライフスタイルの変化、お客様の消費行動の変化、各種値上がりへの対応などの課題はあるものの、お客様のご来店客数は着実に回復傾向にあります。このような状況のなか、当社グループは「お客様からありがとうと言われる企業になろう」という企業理念のもと、お客様に満足してお帰りいただき、また来たいと思っていただけるよう、QSCA(品質・サービス・清潔・雰囲気)の向上に取り組んでまいりました。当第2四半期連結会計期間においては、第1四半期連結会計期間から継続して、宴会、インバウンド及び国内旅行団体の集客が堅調に推移しており、DX推進やメニュー改定によるコスト高への対応等もあわせ、業績は順調に推移しました。店舗開発としましては、コロナ禍において控えていた新規出店を再開し、当第2四半期連結累計期間において直営店2店舗、FC店1店舗を出店するとともに、お客様に居心地の良い空間を提供するため、店舗のブラッシュアップ(改装、業態転換、修繕等)を進めてまいりました。

2023年9月末の飲食直営店は、341店(前年同期比26店減)、飲食FC店は、308店(同22店減)となり、飲食店の総店舗数は、649店(同48店減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

総資産は、前連結会計年度末と比べ19億70百万円(3.3%)増加し、612億45百万円となりました。

流動資産は、商品及び製品が15億65百万円、売掛金が4億78百万円増加したこと等により、前連結会計年度末と比べて23億29百万円(6.4%)増加し、388億10百万円となりました。

固定資産は、前連結会計年度末と比べて3億59百万円(△1.6%)減少し、224億35百万円となりました。

(負債)

総負債は、前連結会計年度末と比べて5億71百万円(1.9%)増加し、302億54百万円となりました。

流動負債は、短期借入金が20億円減少した反面、買掛金が20億12百万円、未払金が3億81百万円増加したこと等により、前連結会計年度末と比べて6億96百万円(3.0%)増加し、236億54百万円となりました。

固定負債は、前連結会計年度末と比べて1億25百万円(△1.9%)減少し、66億円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末と比べて13億98百万円(4.7%)増加し、309億91百万円となりました。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の48.7%から49.2%となりました。

②連結キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末と比べて3億12百万円(2.7%)増加し、120億57百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動で得られた資金は、前年同期と比べ9億47百万円増加し、30億78百万円となりました。

主な要因は、税金等調整前四半期純利益が21億50百万円、減損損失が4億14百万円、仕入債務の増加が20億12百万円あったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動で使用した資金は、前年同期と比べて1億81百万円減少し、3億95百万円となりました。

主な要因は、有形固定資産の取得による支出が4億34百万円あったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動で使用した資金は、前年同期と比べて18億84百万円増加し、23億70百万円となりました。

主な要因は、短期借入金の減少が20億円あったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現時点では2023年8月10日に公表した数値からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,745	12,058
売掛金	5,102	5,581
商品及び製品	17,780	19,345
仕掛品	67	67
原材料及び貯蔵品	38	43
前払費用	859	784
その他	1,131	1,142
貸倒引当金	△243	△213
流動資産合計	36,481	38,810
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	29,165	28,947
減価償却累計額	△24,159	△24,066
建物及び構築物 (純額)	5,006	4,880
機械装置及び運搬具	2,039	1,877
減価償却累計額	△1,922	△1,774
機械装置及び運搬具 (純額)	117	102
工具、器具及び備品	9,489	9,560
減価償却累計額	△8,702	△8,777
工具、器具及び備品 (純額)	787	783
リース資産	1,693	1,642
減価償却累計額	△1,531	△1,492
リース資産 (純額)	161	150
土地	4,618	4,618
建設仮勘定	14	18
有形固定資産合計	10,706	10,553
無形固定資産		
ソフトウェア	45	67
のれん	1,975	1,689
その他	24	24
無形固定資産合計	2,046	1,781
投資その他の資産		
投資有価証券	807	812
関係会社株式	852	901
破産更生債権等	318	315
長期前払費用	109	115
差入保証金	7,156	7,093
退職給付に係る資産	64	67
繰延税金資産	941	1,010
その他	107	95
貸倒引当金	△315	△311
投資その他の資産合計	10,041	10,099
固定資産合計	22,794	22,435
資産合計	59,275	61,245

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	10,304	12,317
短期借入金	7,000	5,000
1年内返済予定の長期借入金	155	200
リース債務	33	25
未払金	1,586	1,967
未払費用	813	910
未払法人税等	999	659
未払消費税等	511	401
預り金	243	392
賞与引当金	718	774
その他	590	1,004
流動負債合計	22,957	23,654
固定負債		
長期借入金	2,786	2,673
退職給付に係る負債	314	314
リース債務	147	136
役員退職慰労引当金	658	670
資産除去債務	1,551	1,540
繰延税金負債	22	0
その他	1,243	1,265
固定負債合計	6,725	6,600
負債合計	29,683	30,254
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,247	3,247
資本剰余金	5,815	5,815
利益剰余金	19,569	20,775
自己株式	△8	△9
株主資本合計	28,623	29,829
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	227	284
退職給付に係る調整累計額	△1	△0
その他の包括利益累計額合計	225	283
非支配株主持分	743	878
純資産合計	29,592	30,991
負債純資産合計	59,275	61,245

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	75,769	80,149
売上原価	56,598	57,763
売上総利益	19,170	22,386
販売費及び一般管理費	18,636	19,816
営業利益	534	2,570
営業外収益		
受取利息	3	2
受取手数料	26	35
受取配当金	9	10
持分法による投資利益	2	1
雇用調整助成金	40	—
新型コロナウイルス拡大防止協力金	21	—
その他	69	57
営業外収益合計	173	108
営業外費用		
支払利息	55	40
店舗改装費用	11	10
店舗閉鎖損失	2	—
その他	19	13
営業外費用合計	89	64
経常利益	619	2,613
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除却損	—	2
減損損失	77	414
契約解約損	25	—
投資有価証券評価損	—	3
その他	6	44
特別損失合計	108	464
税金等調整前四半期純利益	510	2,150
法人税、住民税及び事業税	540	617
法人税等調整額	68	△144
法人税等合計	608	473
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△98	1,676
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△663	188
親会社株主に帰属する四半期純利益	564	1,488

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△98	1,676
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16	2
退職給付に係る調整額	0	1
その他の包括利益合計	△16	4
四半期包括利益	△114	1,680
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	569	1,545
非支配株主に係る四半期包括利益	△683	135

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	510	2,150
減価償却費	541	521
長期前払費用償却額	12	11
減損損失	77	414
契約解約損	25	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	3
固定資産売却損益 (△は益)	△0	△0
固定資産除却損	—	2
新型コロナウイルス拡大防止協力金	△21	—
雇用調整助成金	△40	—
のれん償却額	91	90
持分法による投資損益 (△は益)	△2	△1
支払利息	55	40
受取利息及び受取配当金	△12	△12
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	13	△35
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△118	56
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	10	0
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	4	11
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,575	△478
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△2,054	△1,571
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,790	2,012
未払金の増減額 (△は減少)	134	381
未払消費税等の増減額 (△は減少)	141	△110
その他	△193	555
小計	1,387	4,040
利息及び配当金の受取額	10	11
新型コロナウイルス拡大防止協力金の受取額	1,188	—
雇用調整助成金の受取額	238	—
法人税等の還付額	0	17
利息の支払額	△63	△39
法人税等の支払額	△632	△951
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,130	3,078
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△644	△434
有形固定資産の売却による収入	1	1
有形固定資産の除却による支出	△115	△52
貸付金の回収による収入	15	11
長期前払費用の取得による支出	△27	△17
差入保証金の差入による支出	△68	△74
差入保証金の回収による収入	202	145
預り保証金の返還による支出	△15	△26
預り保証金の受入による収入	70	69
その他	4	△16
投資活動によるキャッシュ・フロー	△576	△395

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	△2,000
長期借入金の返済による支出	△72	△68
リース債務の返済による支出	△36	△19
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△281	△281
非支配株主への配当金の支払額	△94	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△485	△2,370
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,068	312
現金及び現金同等物の期首残高	13,791	11,745
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,859	12,057

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う会計上の見積りについて)

前連結会計年度の有価証券報告書の(重要な会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について、重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	酒販事業	外食事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	65,753	10,016	75,769	—	75,769
セグメント間の内部 売上高又は振替高	130	—	130	△130	—
計	65,884	10,016	75,900	△130	75,769
セグメント利益又は 損失(△)	1,853	△1,323	529	5	534

(注) 1. 調整額はセグメント間取引消去及び固定資産の調整額であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

セグメントごとの固定資産減損損失の計上額は、「酒販事業」において14百万円、「外食事業」において63百万円であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	酒販事業	外食事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	66,333	13,815	80,149	—	80,149
セグメント間の内部 売上高又は振替高	150	—	150	△150	—
計	66,484	13,815	80,300	△150	80,149
セグメント利益	1,864	700	2,564	5	2,570

(注) 1. 調整額はセグメント間取引消去及び固定資産の調整額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

セグメントごとの固定資産減損損失の計上額は、「酒販事業」において72百万円、「外食事業」において341百万円であります。